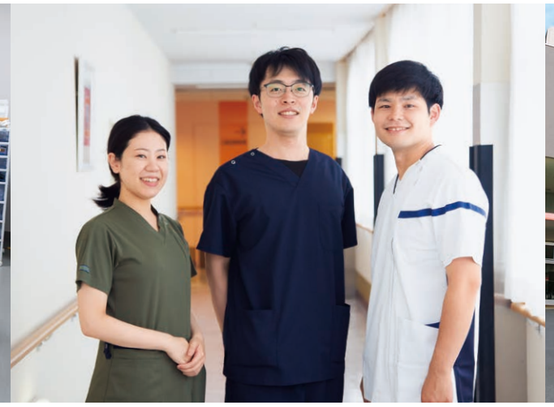
Saitama Cooperative Hospital

みんなでつくる
安心と信頼の医療

医療生協さいたま生活協同組合　民医連 埼玉民医連

埼玉協同病院

Saitama Cooperative Hospital



すべての人々が健康に生きられる社会を

当院は1978年の開院以来、地域住民・組合員の皆様と力を合わせて一貫して無差別・平等の医療を追求してきました。併せて、その活動を担う職員の育成にも取り組んできました。
国民生活では貧困と格差が広がり、いのちと健康がおびやかされる状況が生まれています。私たちは医学の成果と社会の進歩に学び、すべての人が尊重される医療を実践し、安心して住み続けられるまちづくりを進めます。この地域になくてはならない病院として、多くの医療従事者が集い成長できる病院として、力強く歩んでいきたいと思います。

院長　忍 哲也

埼玉協同病院の理念

［私達の医療理念］

人権をまもり、健康なくらしに役立つ医療を、地域とともにつくります。

［理念に基づく行動］

医療が保障される社会づくり

個人が尊重され、社会的不平等のない医療・福祉制度の実現をめざします。
最大の環境破壊である戦争に反対し、平和と環境をまもります。

私たちの医療の目的と姿勢

すべての人々が、健康に生き、尊厳をもって療養できるよう支援します。
利用者によりそい、自律を育み、安全・安心で最適な医療・介護を行います。

医療従事者としての成長

科学的視点と高い倫理観をもち、医学の成果と社会の進歩に学びます。
地域のなかで、育ちあう喜びとやりがいを感じられる職員に成長します。

埼玉協同病院を語る6つのキーワード

01 救急医療
二次救急指定病院として、
地域の救急医療を24時間体制で担う

02 がん診療＆手術
がん診療指定病院として、
患者様の人生を支える

03 関節治療センター
関節痛の患者様に、
屈指の症例数と設備で寄り添う

04 産婦人科
子育てしやすい地域へ。
女性とその家族の一生を支える

05 緩和ケア
あらゆる疾病のさまざまな問題に、
チームで向き合う

06 回復期リハビリテーション
在宅復帰、社会復帰のために、
心身の健康を取り戻す

病院概要

診療科目／内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・緩和ケア内科・脳神経内科・小児科・外科・呼吸器外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・泌尿器科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・病理診断科・リウマチ科・臨床検査科・腎臓内科・血液内科・糖尿病内科・救急科・泌尿器科（人工透析）・緩和ケア外科　専門外来・被爆外来

病床数／ 377床（ハイケアユニット8床、緩和ケア20床、回復期リハビリテーション50床を含む）

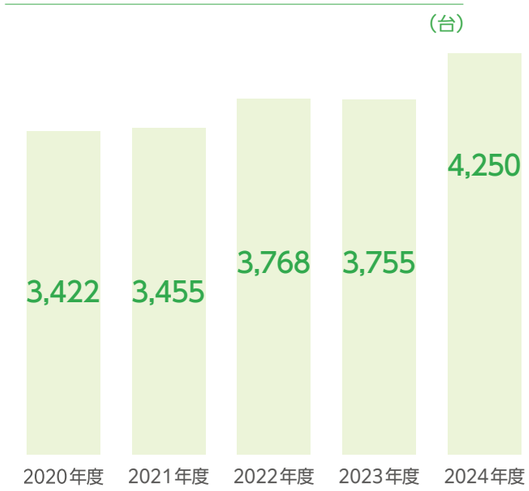
認定施設／保険医療機関、救急告示病院、がん診療指定病院、災害時連携指定病院
医療機能評価3rdG：Ver2.0認定、卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定

01

救急医療

「二次救急指定病院」として、入院や手術を必要とする重症の患者様の救急医療を24時間体制で担っています。

救急車の受け入れ台数の年間推移



地域から求められる救急医療

当院のERは、地域の医療施設や関係機関と連携しています。川口市や近隣のエリアから1日に12件前後、年間約4,000件の救急搬送を受け入れ、川口市の地域医療に貢献しています。また、入院中に急変した患者様にも対応します。

病院の外でも、地域のために力を尽くす

救急治療の対応の他にも、気になる患者様の自宅を訪問したり、社会派ERとして困難を抱えた方に医療ソーシャルワーカーがすぐに介入しています。また、病院外では災害訓練の指導を行うなど、地域の方との触れ合いを大切にしています。

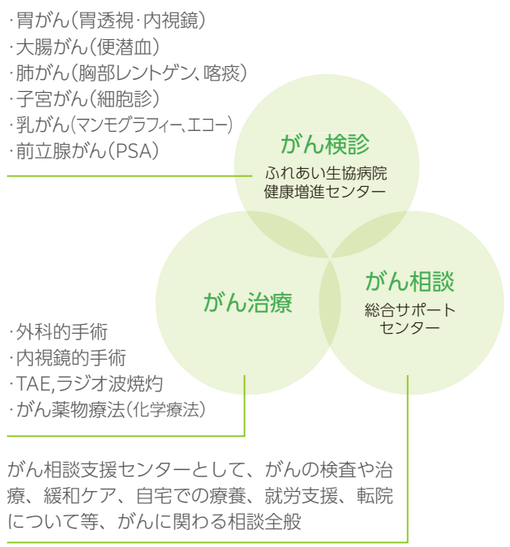
分け隔てなく、患者様を受け入れる

どんな事情があっても、誰もが分け隔てなく、最高水準の治療を受ける権利をもっています。当院は「無差別・平等の医療」を掲げる民医連に加盟。信念として「断らないER」を心がけ、一台でも多くの救急車を受け入れています。

02

がん診療＆手術

「埼玉県がん診療指定病院」として、がんを正しく知り、がんと向き合い、がんとともに生きぬく主体的な患者様の人生を支えています。



切れ目のないがん医療

がんの予防、治療、緩和ケア、リハビリテーション、終末期までその人らしく生きていくことを支え、身体的苦痛だけでなく、精神的心理的な苦痛に対する心のケア、社会的な相談も含め総合的なケアを行っています。

患者様の負担をできるだけ軽くする

外科の年間手術件数648件のうち、がんの手術は196件、そのうち患者様の負担の小さい鏡視下（腹腔鏡・胸腔鏡を用いた）の手術は74件です（2023年）。主に、消化器（胃、結腸、直腸、肝臓、膵臓など）や乳房、肺などのがん手術を行っています。低侵襲（体への負担が小さい）手術を心がけ、安全な術後管理を行うことで、入院期間が短くなっています。

地域連携で、人生を支える

がん相談支援センター（総合サポートセンター）を設置しています。治療や今後の生活・仕事のことなど、さまざまな不安や疑問、相談などにお応えしています。また、当院では対応できない治療も県内で完結することを目指し、がん診療における地域連携も積極的に行っています。

03 関節治療センター

ロボット支援人工関節手術から再生医療まで。国内屈指の症例数・最新設備で、すべての関節痛の患者様に寄り添います。

人工関節手術と再生医療が２本柱

患者様のライフスタイルや意志を尊重し、より多くの選択肢からすべての患者様に寄り添える治療をしたいという想いから“人工関節手術”と“再生医療”の２本柱を掲げています。どちらも国内屈指の実績を誇り、学会でも関節専門医の指導を行っております。

患者満足度を重視する人工関節手術

ナビゲーションシステム・3D 骨モデル作成など全国に先駆けた最先端技術を取り入れ、2019年からは3台の手術支援ロボットも導入しました。熟練した医師の経験と技、さらにロボットが融合することで、より正確で確実性が高く、それぞれの患者様に最も適した手術を可能にしています。

痛みの少ない手術 専属スタッフによるリハビリ

手術後の痛みを少なくし、快適な入院生活を送っていただきたいとの想いから、当センターでは、筋肉などの組織を傷めることなく行う最小侵襲手術（MIS）はもちろん、徹底したmultimodal pain control（多角的疼痛管理）に力を入れています。傷の美しさにもこだわり、抜糸の必要もありません。手術後の看護・リハビリは、人工関節に特化した専属の看護師・リハビリスタッフがサポートします。

多種多様な治療を取り揃えた再生医療外来

変形性関節症に対し、ご自身のからだの「修復する力＝再生力」を利用し、痛みの軽減や組織修復を目指す再生医療にも力を入れています。個人差はあるものの、関節炎の改善や痛みの軽減が期待できるため、まず試してみたいという方も多くいらっしゃいます。当センターは脂肪・血液（PRP）・軟骨を利用した３つの再生医療を提供できる希少な総合病院として認可されています。

04 産婦人科

女性とその家族の一生を支える
外来・病棟を目指しています。

家族もまるごと支える

当院では、子育てしやすい地域を目指し、『産み、育み』を支えることができるよう、訪問や地域との連携、産後ケアなどで継続した支援を行っています。また、女性特有の疾患と向き合うことに寄り添い、家族もまるごと支えることを目指しています。

Saitama Cooperative Hospital

05 緩和ケア

がんに限らず、疾病に関連した心身のさまざまな問題に対して、患者様と一緒に向き合っています。

苦痛を和らげ QOLの改善を目指す

医師、看護師だけでなく多くの職種のスタッフが個々の専門性を活かせるチーム医療を実践しています。外来や病棟において困っている心身の症状について、患者様が医療スタッフの誰からでも相談できる体制を整えています。

緩和ケア病棟は、がん患者様に特化した病棟です。どのような病状でも、少しでも穏やかに明日を迎えることができるようにお手伝いしています。

06 回復期リハビリテーション

各職種がそれぞれ専門的に援助し、リハビリテーションを365日提供。患者様の在宅復帰や社会復帰を総合的に提供することを担います。

心身の健康を 取り戻す

『手術後に歩けなくなった』『事故により、もとどおりの生活ができなくなった』など、当院に入院される方はさまざまな不安を抱えています。退院後の生活について前向きに考えられるように、また、退院後の生活が安心して送れるように、患者様とともに、さまざまな職種がサポートしています。当院は、身体のリハビリテーションだけでなく、心の健康も取り戻すことができるような関わりを実践しています。

総合サポートセンター

地域のみなさまの医療にまつわる困りごとをワンストップで受け止め、対応します。

地域連携

地域の中核病院として近隣医療機関と連携しながら、患者様が安心して治療が受けられるよう努めています。当院で治療が完結できない時には、患者様の希望も聞きながら高次医療機関へ紹介し、症状が安定した患者様には安心して治療継続できるように連携する地域開業医をご案内しています。地域医療機関との連携を深める為に、地域医療懇談会を毎年開催しています。

入退院支援

入院治療が安心して受けられる様に入院が決まった時から退院後の生活を見据えた支援を行います。病院スタッフだけでなく地域の医療・介護スタッフと連携し、少しでも退院後の療養への不安軽減に努めます。病気や治療内容、支援者や社会経済的情報など様々な視点を踏まえて、対象者がその人らしく生活できる方法を一緒に考えていきます。

相談支援

病気によって生じる、様々な困り事に対応します。患者様、ご家族様の抱える、身体的・精神的な問題等について、社会保障制度を活用しながら、地域の様々な支援担当者と連携を図り問題解決にむけて取り組みます。又、生活者の視点を忘れず、日々の暮らしをよくする活動、運動や支援も行っていきます。

Saitama Cooperative Hospital

当院のネットワーク

地域包括ケア時代に輝く病院群へ

医療生協さいたまのセンター病院として

高度な医療サービス提供

医療生協さいたまのセンター病院として、高度な医療サービスを提供する拠点としての役割を担っています。年4,000件の救急搬送を受け入れる救急医療やがん診療を軸に、整形外科の人工関節手術や脳神経外科、精神科などの専門領域の診療を有し、年2,500件を超える手術、透析治療など高度な医療技術を駆使し、患者様の健康を支え、治療に取り組んでいます。

地域の中核病院として、地域包括ケア時代に輝く病院へ

地域の中核病院として、地域社会に深く結びついた医療提供を実現しています。隣接する、ふれあい生協病院、老人保健施設みぬま、ケアセンターきょうどうなどの関連施設との連携はもちろん、地域の医療機関とは日々のコミュニケーションや医療懇談会などの機会を通して緊密な連携を進めています。

「地域包括ケアの時代に輝く病院へ」をコンセプトとした今回のリニューアルにより、救急医療とがん診療を中心に据え、求められる医療水準に応えられるよう、より急性期病院として充実、各科の専門的な力量向上を追求しています。医療専門職が集結し、総合的で専門性を兼ね備えた病院として、患者様と職員の両方に魅力的な場所となっています。

教育・人材育成

埼玉協同病院・ふれあい生協病院の職員育成理念

私たちの医療理念を実践し地域社会に貢献できる人と職場をつくります
そのために次の能力・態度を身につけます

1. 民医連・医療福祉生協の理念や成り立ちを理解し、発展させる立場で人と関わり合い、ともに成長する
2. 患者・利用者によりそい自律を育み、安全・安心で最適な医療・介護の実践に向けて多職種で協働する
3. 常に科学の進歩に学び、質の高い医療・介護の実践を追求する
4. ひとりひとりを尊重し仲間を大切にして、安心して働き続けられる職場づくりを行なう
5. 健康なくらしを阻害する社会の問題を自分ごととしてとらえ、関係する人々と力を合わせて平和で公正な社会をめざし行動する

3つの成長を促す学習と職場づくり

- 専門職としての成長
- 民医連・医療生協の職員としての成長
- 市民社会における主権者（主体者）としての成長

1 SKYMET

埼玉協同病院教育研修センター（Saitama kyoudo hospital Medical Education and Training Center）、略称SKYMETは、埼玉協同病院とふれあい生協病院の職員育成理念に基づき、研修を企画・統括し、有効な教育法の評価・提供などの活動をしています。

2 人事育成制度・目標による管理

医療生協さいたまは、自らが目的を考えて行動し主体的にキャリア形成する職員を求めています。そのためすべての職員は期首に個人目標を設定し、年間を通じて達成に向けて行動し、期末にふりかえりを行います。職場や多職種で目標達成に協力しあうことで、一人ひとりが成長し組織の発展につながることをめざしています。

3 JCEPによる評価

当院の初期研修の特徴は、医師をはじめとする全職員が研修に関わる点があげられます。2年間を終えての研修修了式では研修医から「看護師さんはもとより、薬剤師や栄養士、事務の皆さんによく教えてもらいました。」という感想が述べられています。「教えることは育つこと」であり、研修医の存在は病院の質を向上させる原動力になっています。

Saitama Cooperative Hospital

医療生協さいたま生活協同組合　埼玉民医連

埼玉協同病院

https://kyoudou-hp.com/

〒333-0831
埼玉県川口市木曽呂1317番地
TEL 0570-00-4771

2025.07